

第4章 ゾーン別の強化方針

この章では、地域ごとの特性を踏まえて東西に長いはぐくみの軸のゾーン分けを行い、その上で、ゾーン別の「現状と課題」「強化の考え方」「将来像イメージ」を示します。

4-1. ゾーン区分の設定

はぐくみの軸は東西に約2.5kmの長さがあるため、地域ごとに異なる特性を有しています。その特性を踏まえながら、それぞれの魅力を高めていくことで相乗効果を生み出し、はぐくみの軸全体の価値を向上させていくため、現状の沿道施設の立地状況や第2次都心まちづくり計画の考え方などから、はぐくみの軸を4つのゾーンに区分けしました。

西Cゾーン

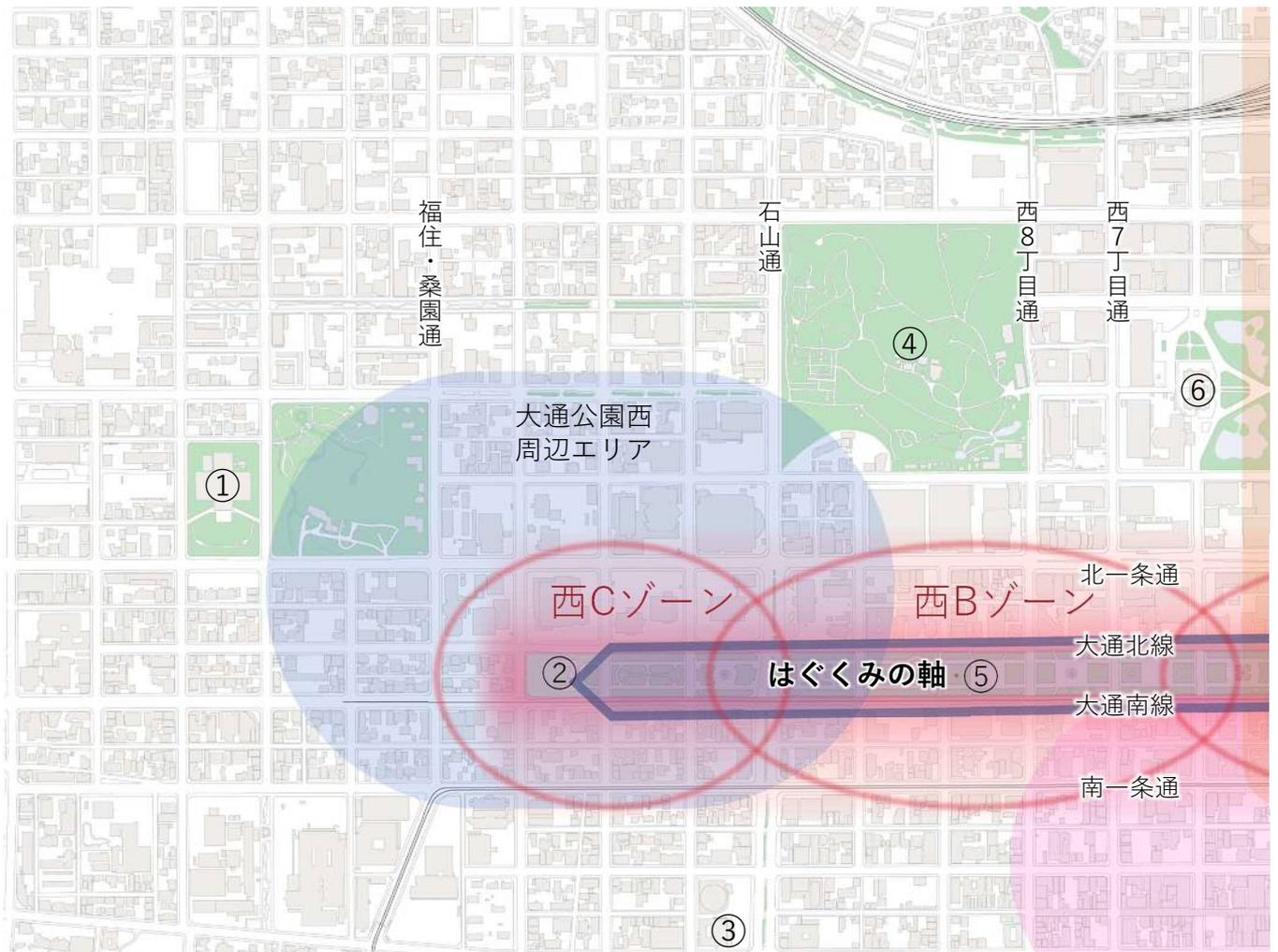
(概ねの位置：はぐくみの軸西端～石山通)

周辺を含めて文化芸術施設・歴史的資源や集客交流施設が立地しているとともに、地下鉄駅・路面電車・バスの停留所が近接しており、交通利便性が高いゾーン

西Bゾーン

(概ねの位置：石山通～西6丁目)

多くの子どもが利用する大通公園の「遊び・イベントゾーン」を含み、沿道にはオフィス・集合住宅・ホテル・教育施設などが立地し、多様な土地利用となっているゾーン



■ ゾーン範囲周辺の施設



①北海道立近代美術館



②札幌市資料館



③中央区複合庁舎
(予定)



④北海道大学植物園



⑤ブラック・スライド・マントラ

西Aゾーン

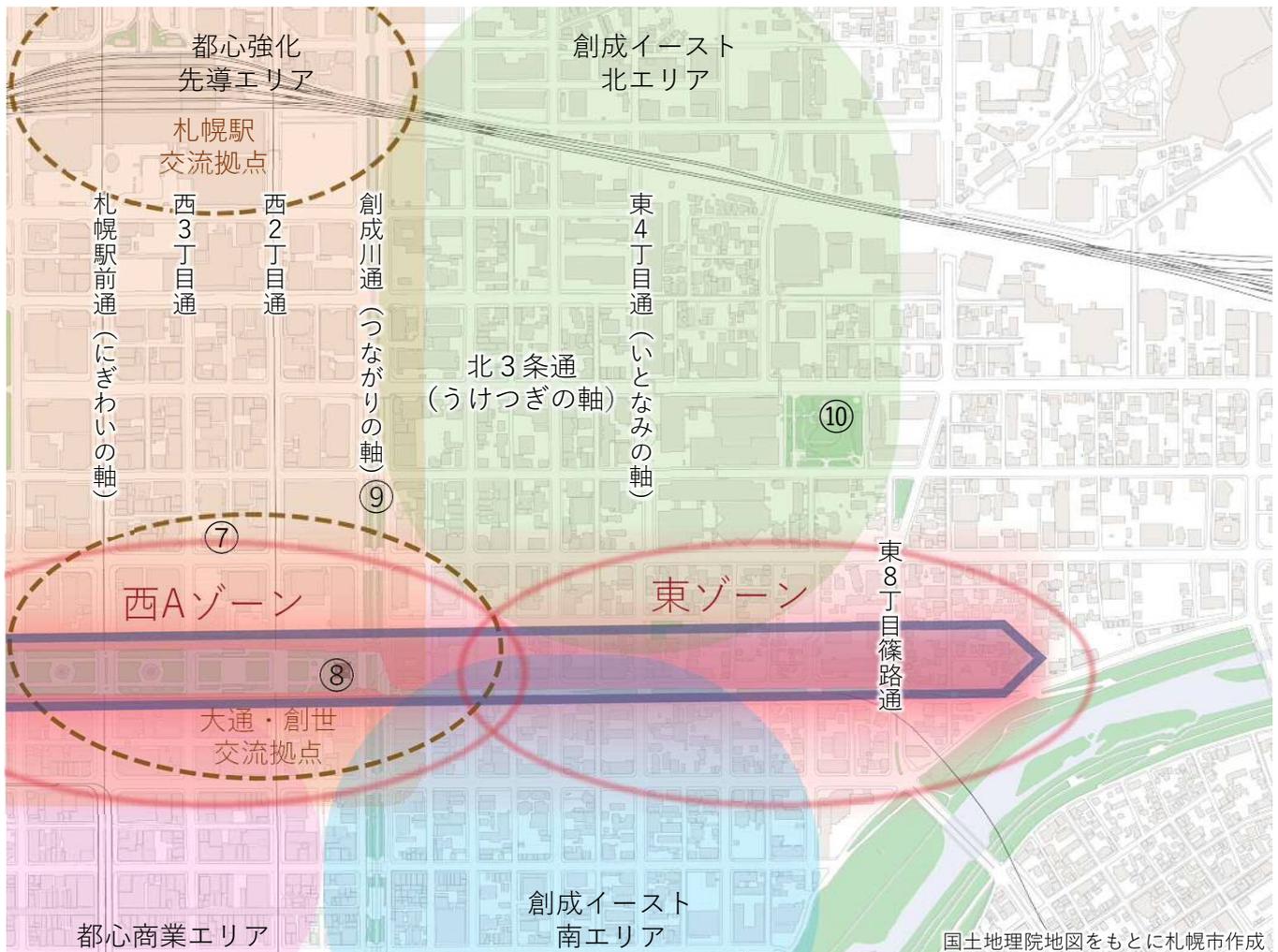
(概ねの位置：にぎわいの軸・つながりの軸と
大通・創世交流拠点を含むエリア)

第2次都心まちづくり計画で「大通・創世交流拠点」として位置付けているほか、「都心強化先導エリア」「都心商業エリア」の一部を含んでおり、都心の中でもビジネス・行政・商業といった都市機能の中心的役割を担っているゾーン

東ゾーン

(概ねの位置：大通・創世交流
拠点より東側)

共同住宅の建設が進んでいる一方で、公園や公共的空間が不足しており、また、青空駐車場といった低未利用地が多いゾーン



⑥北海道庁旧日本庁舎



⑦札幌市時計台



⑧さっぽろテレビ塔



⑨創成川公園



⑩旧永山武四郎邸

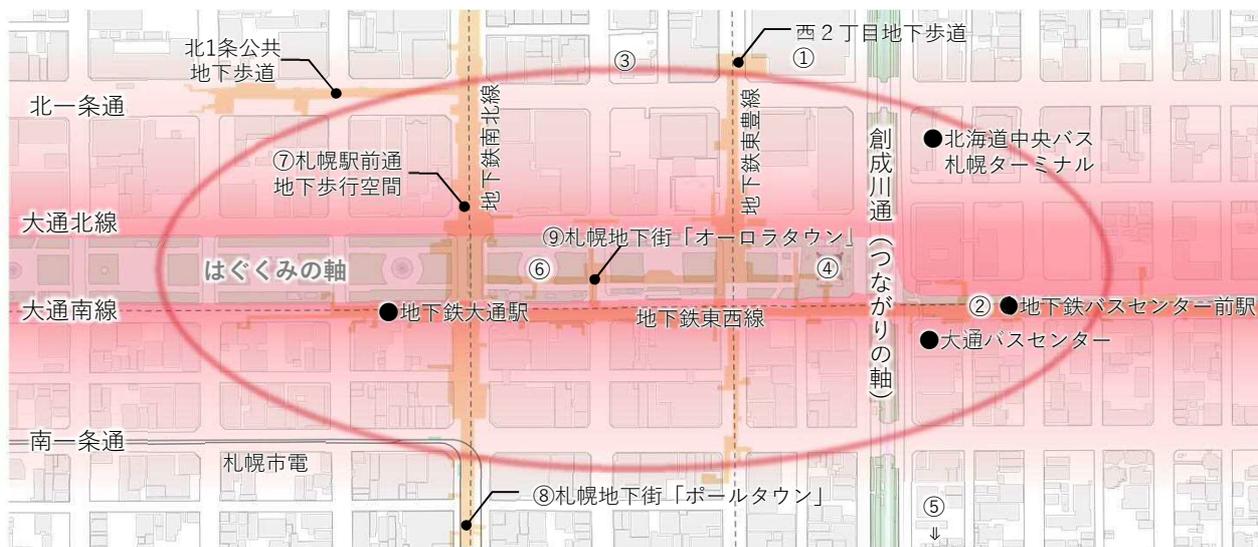
上記写真全て <資料>札幌市

4-2. ゾーン別の現状と課題、強化の考え方

ここでは4つに分けたゾーン毎にまちの特性や主な課題を分析し、「強化の考え方」を設定します。

■ ゾーン周辺図

西Aゾーン



①札幌市民交流プラザ



②札幌大通地下ギャラリー500m美術館



③札幌市時計台



④さっぽろテレビ塔



⑤二条市場



⑥大通公園西3丁目・噴水



⑦札幌駅前通地下歩行空間



さっぽろ地下街（左：⑧ポールタウン、右：⑨オーロラタウン）

上記写真全て <資料>札幌市

■ ゾーン特性 ●●●：関連する将来像のキーワード

- 札幌市民交流プラザや札幌大通地下ギャラリー500m美術館など文化芸術施設が立地している。●**創造と交流の好循環**
- 札幌市時計台、さっぽろテレビ塔など札幌を象徴する歴史的資源、景観資源が立地している。
●**象徴性の継承** ●**資源を活かした景観**
- 二条市場などの地域資源がある。●**象徴性の継承**
- 噴水などの水景施設が大通公園の各街区を特徴づけている。●**象徴性の継承**
- 創成川通アンダーパス連続化事業に伴い創成川公園や創成川の東西市街地を繋ぐ道路が整備され、創成川より西側から東側への人の流れを創出する基盤が形成されている。●**象徴性の継承**●**円滑な移動環境**
- 地区計画や地域が主体となって策定したまちづくりガイドラインにより土地利用などの方針が示され、今後の機能更新が期待される街区がある。●**創造と交流の好循環**
- 地下歩行空間、地下街などが展開し、地下の回遊性を有する空間となっている。●**ユニバーサルなまち**
- 北海道内各所と繋がるバスターミナル機能や市内各地への交通アクセスが充実している。●**円滑な移動環境**
- 地下鉄駅や路面電車・バスの停留場が近接しており、交通結節点³⁰になっている。●**円滑な移動環境**
- 面的なエネルギーネットワークの整備が進められている。●**脱炭素化の推進**
- 一時避難場所としての大通公園や、一時滞在施設及び大規模地下緊急一時避難施設としてのさっぽろ地下街・札幌駅前通地下歩行空間などがある。●**防災機能の強化**

■ 第2次都心まちづくり計画上の位置づけ

- 「大通・創世交流拠点」に位置づけられ、札幌の都市文化を発信・体感する拠点機能の展開などを目指している。※68ページ参照

■ 主な課題 ●●●：関連する将来像のキーワード

- 札幌駅前通と大通の交点であり、象徴的空間として強化していく必要がある。●**象徴性の継承** ●**創造と交流の好循環**
- 札幌を象徴する歴史的資源としての札幌市時計台が立地しているが、大通公園とのつながりが弱い。
●**象徴性の継承**
- 沿道から南北へ展開する回遊性が不足している。●**象徴性の継承**
- 西側から繋がっている大通公園は創成川までで途切れており、創成川より東側への公共的空間の連続性が途切れている。●**創造と交流の好循環**
- 大通公園と沿道の空間的な一体感に欠け、利活用及びにぎわいの連続性が不足している。●**象徴性の継承**●**魅力あるライフスタイル**●**居心地がよく歩きたくなるまち**
- 大通公園を中心とした区域は、景観計画重点区域、風致地区及び都市公園区域として、沿道建物の位置、規模及び外壁の色彩、屋外広告物並びに敷地内の緑化などの基準があるが、より良好な景観形成に向けた検討の余地がある。●**資源を活かした景観**
- 屋外広告物の掲出にあたっては、大通地区の特性を踏まえ、先行する他の整備地区（札幌駅周辺地区など）との比較において、より抑制的な掲出とすることが望ましい。●**資源を活かした景観**
- 路上駐車が多く、自転車通行空間をふさぐなどの支障が生じている。●**円滑な移動環境**
- エネルギーネットワークを、沿道建物へさらに拡充していく必要がある。●**脱炭素化の推進**

強化の考え方

はぐくんできた価値と新しい価値が融合した
世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点をはぐくむ

³⁰【交通結節点】複数・異種の交通手段の接続が行われる場所。

■強化の考え方

はぐくんできた価値と新しい価値が融合した
世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点をはぐくむ

■想定される主な取組例 ※ゾーン毎に想定される主な取組例の一覧は60ページ以降を参照



【象徴性の継承】

- 歴史的資源※の保存と活用

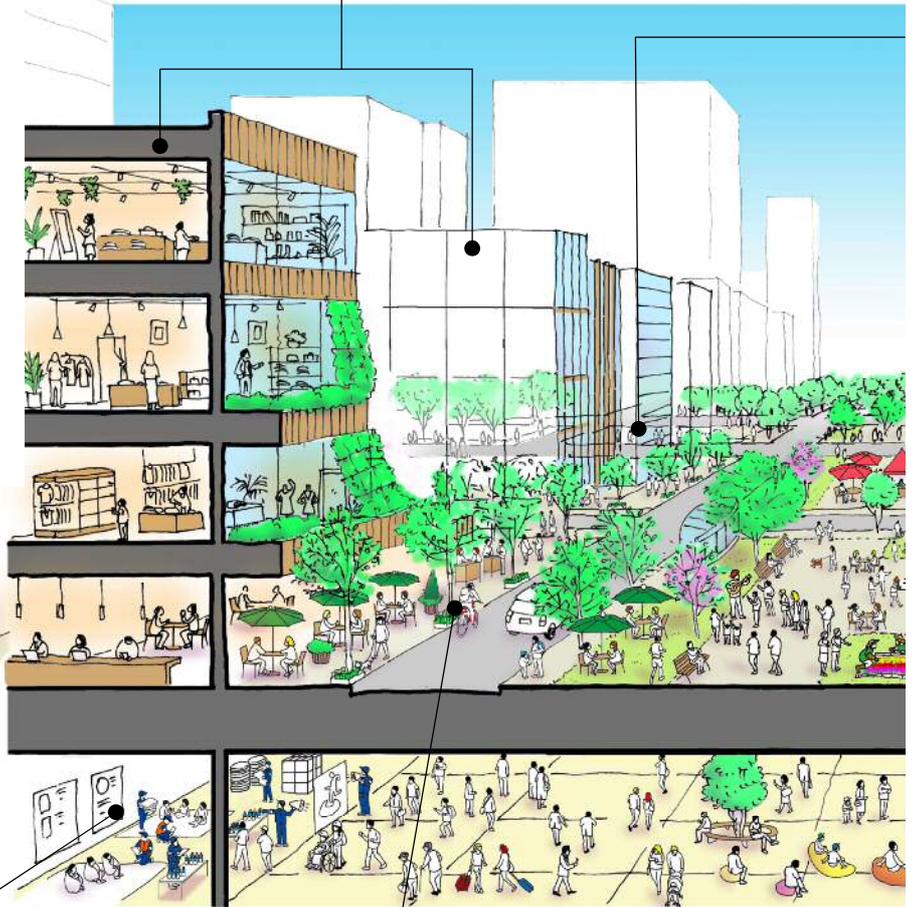


※札幌市時計台



【資源を活かした景観】

- 新築建物における大通公園や大通沿道の環境、そこでの活動に配慮した配棟の計画
(壁面セットバックを用いた大通公園や歴史的資源への配慮など)
- 新築建物における街並みと調和した建物の表情線の創出
(隣接建物と調和した低層部の軒高やオープンスペースの創出など)



【居心地がよく歩きたくなるまち】

- 歩行者動線と錯綜しない、共同荷さばきのためのスペースや動線の確保



【防災機能の強化】

- 災害時に活用できる公共的空間の創出
- エリアマネジメント団体による防災訓練の実施



【連続的につながるみどり】

- みどりととの繋がりを創出するための中低層部の設えの工夫



【象徴性の継承】

- 沿道建物低層部を活用したにぎわい創出
(オープンカフェや屋外テラスの配置など)

街区・道路・公園の一体感を



西Aゾーン



【象徴性の継承】

- 周辺の資源※を活かした象徴的な都市空間の創出
※札幌市時計台、創成川公園、さっぽろテレビ塔



【創造と交流の好循環】

- 市有地の利活用による複数街区での連鎖開発と相互連携を通じた新たな象徴空間の創出



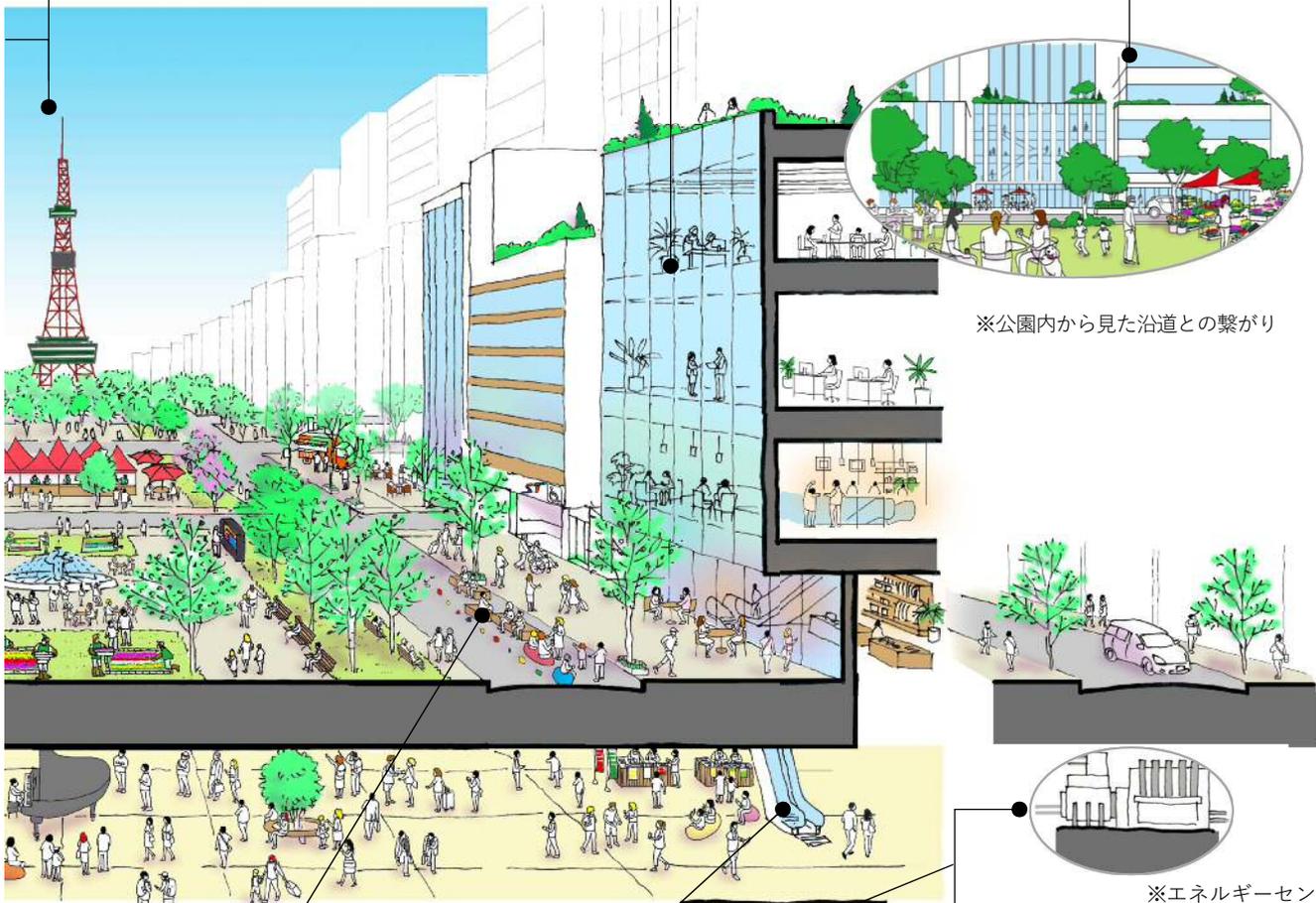
【創造と交流の好循環】

- 建物の更新に合わせた用途の複合化やまちの魅力を高める機能の集積
- 大通公園に面した街区らしい働き方ができ、多様な人材を引き寄せる創造的なオフィス環境の整備



【象徴性の継承】

- 沿道建物から大通／大通公園までの空間を繋ぐ公共空間の創出や利活用
(民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など)



※公園内から見た沿道との繋がり

※エネルギーセンター³¹



【協働によるまちづくり】

- 実現させたい施策を想定した、多様な関係者が参加した実証実験の実施



【居心地がよくなるまち】

- 道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施



【ユニバーサルなまち】

- 建替等に合わせた地上と地下の往来時の利便性の向上
(地下の歩行者空間への接続箇所の新設、地上・地下出入口の建物への取込み など)

※熱供給パイプライン



【脱炭素化の推進】

- 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充
(低炭素な熱利用の促進など)
- エネルギーセンターを核としたAEMS³²の導入の促進 (ICT³³を活用した効率的な電力利用の促進など)

感じられる空間の形成

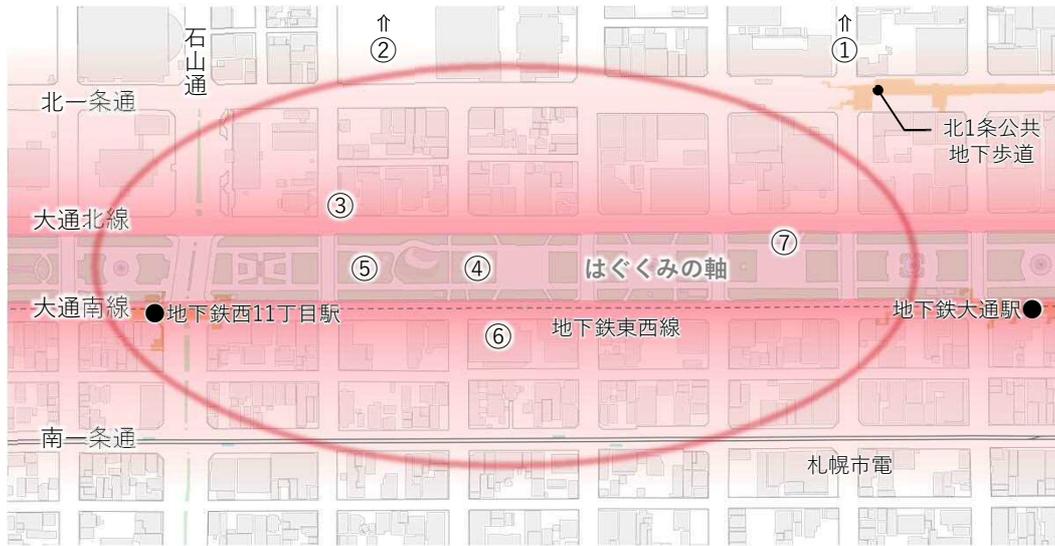
※上記イラストは想定される取組例を盛り込んだゾーン全体のイメージです

³¹ 【エネルギーセンター】建物ごとに設置している冷暖房のための熱源設備や熱源供給するコージェネレーション設備（発電と同時にその際生じる排熱も同時に利用する熱電併給システム）を一か所に集約設置して、周辺の建物に冷水や温水などを供給する施設。

³² 【AEMS】Area Energy Management Systemの略。ICT技術を利用して、複数建物群(エリア)全体のエネルギー利用の最適化を図るための管理システム。

³³ 【ICT】Information and Communication Technologyの略。情報通信技術。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。

■ ゾーン周辺図
西Bゾーン



①北海道庁旧日本庁舎



②北海道大学植物園



③沿道に並ぶ集合住宅・専門学校



④ブラック・スライド・マントラ



⑤遊水路



⑥大通公園沿道に立地するホテル



⑦大通公園6丁目・野外ステージ

上記写真全て <資料>札幌市

■ **ゾーン特性** ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 北側には北海道庁旧本庁舎、北海道大学植物園といった象徴的な地域資源が位置している。●**象徴性の継承**
- 共同住宅の建設や保育施設の整備が進み、教育施設も立地しており、都心居住の受け皿となっている。●**魅力あるライフスタイル**
- 大通公園の「遊び・イベントゾーン」では、子供連れや学生といった若い世代が集まり交流が生まれている。●**魅力あるライフスタイル**
- 大通公園西8丁目は、さっぽろ雪まつりやYOSAKOIソーラン祭りなどの大規模イベント時のメイン会場として活用され、イベントスペースとして機能しており、沿道にはホテルも立地している。●**魅力あるライフスタイル**
- 大通公園西6丁目の野外ステージは音楽イベントなどで活用され、文化芸術機能を発揮している。●**創造と交流の好循環**
- 路面電車の停留場が複数面しており、大通から南側のエリアとの接続の起点となっている。●**円滑な移動環境**
- 大通公園が一時避難場所として指定されている。●**防災機能の強化**
- 大通及びその周辺のビルは築年数の経過などを踏まえると、今後も個別の建替・利用継続が見込まれる。●**防災機能の強化**

■ **主な課題** ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 大通公園と沿道の空間的な一体感に欠け、利活用及びにぎわいの連続性が不足している。●**象徴性の継承**●**魅力あるライフスタイル**●**居心地がよく歩きたくなるまち**
- 周辺の世帯数増加に伴い子供の人口も増加傾向にあるが、大通公園が、憩いと遊びの場として活用できる期間が十分ではない。●**魅力あるライフスタイル**
- 大通公園内のイベント時には、イベントの非利用者に対する動線の確保が課題となっている。●**魅力あるライフスタイル**
- 大通公園内のイベント時には、イベント建屋背面により、大通公園と沿道のつながりが薄れる。●**魅力あるライフスタイル**●**連続的につながるみどり**
- 大通公園を中心とした区域は、景観計画重点区域、風致地区及び都市公園区域として、沿道建物の位置、規模及び外壁の色彩、屋外広告物並びに敷地内の緑化などの基準があるが、より良好な景観形成に向けた検討の余地がある。●**資源を活かした景観**
- 屋外広告物の掲出にあたっては、大通地区の特性を踏まえ、先行する他の整備地区（札幌駅周辺地区など）との比較において、より抑制的な掲出とすることが望ましい。●**資源を活かした景観**
- 路上駐車が多く、自転車通行空間をふさぐなどの支障が生じている。●**円滑な移動環境**

強化の考え方

居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う
都心の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ

■強化の考え方

居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う
都心の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ

■想定される主な取組例 ※ゾーン毎に想定される主な取組例の一覧は60ページ以降を参照

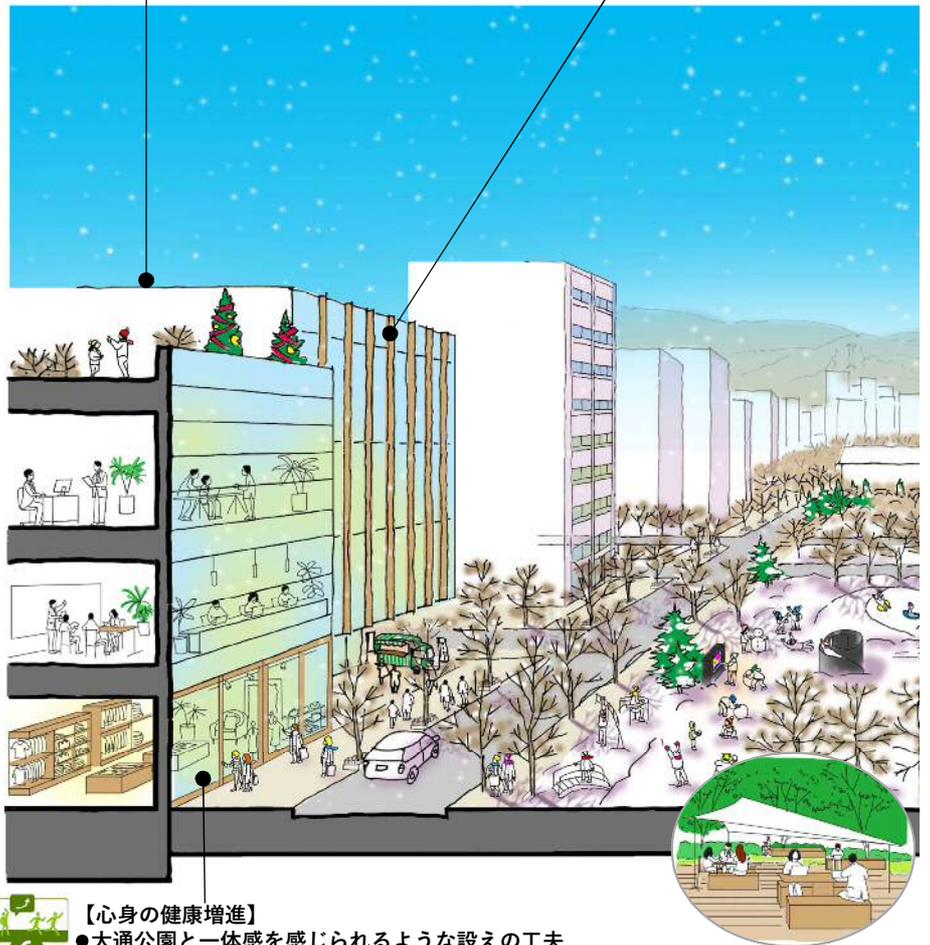
- 1** 【象徴性の継承】
 ●狸小路のにぎわいと繋がる南北の回遊性の創出



※狸小路商店街

- 2** 【創造と交流の好循環】
 ●多様な人材の集積・交流を促すための都心居住への対応
 ●大通公園に面した街区らしい働き方ができ、多様な人材を引き寄せる創造的なオフィス環境の整備

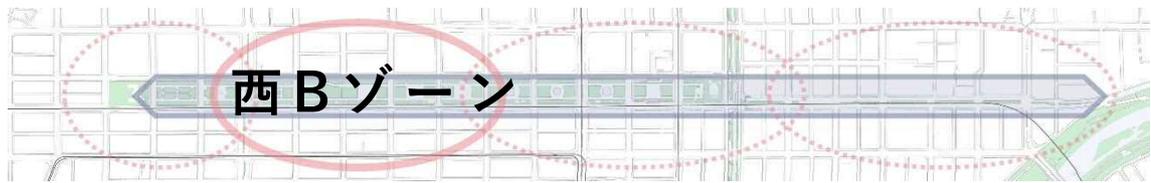
- 9** 【資源を活かした景観】
 ●大通公園にふさわしい屋外広告物の規制、誘導



- 7** 【居心地がよく歩きたくなるまち】
 ●歩行者の多い路線への駐車場出入口設置の抑制

- 6** 【心身の健康増進】
 ●大通公園と一体感を感じられるような設えの工夫
 (内装の木質化、低層部ににぎわい機能の導入、屋外テラスの設置など)
 ●健康増進に資する機能の導入
 (ランニングステーションやジムなどの機能の導入)

街区・道路・公園の一体感を



西Bゾーン



- 【魅力あるライフスタイル】**
- イベント開催時の大通公園と周辺の公共的空間との一体的な活用
 - 道路空間などを活用した実証実験
(イベント時の公園と道路の一体的な活用のための実証実験など)
 - 大通公園の在り方*検討
※日常利用とイベント利用の使い分け、公園の憩い機能を発揮する、公園敷地内外の空間形成など



- 【円滑な移動環境】**
- 路上駐車対策などによる自転車が安全に通行できる空間の確保



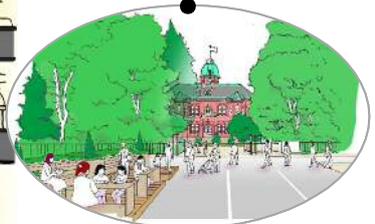
- 【象徴性の継承】**
- 沿道建物低層部を活用したにぎわい創出
(オープンカフェや屋外テラスの配置など)
 - 沿道建物から大通/大通公園までの空間を繋ぐ公共的空間の創出や利活用
(民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など)



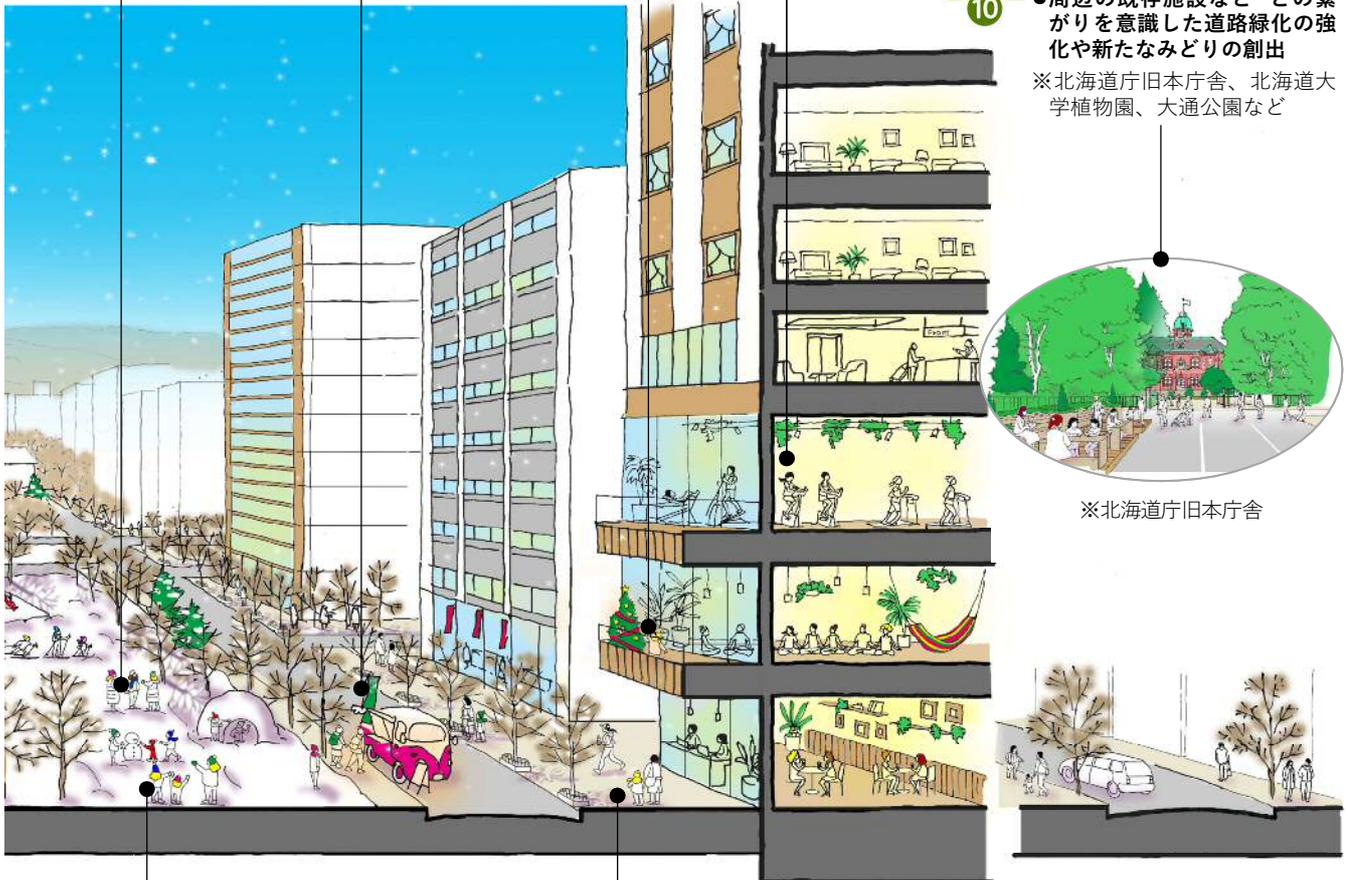
- 【心身の健康増進】**
- 建物の内部の活動が見える設えと使い方の工夫
(屋内緑化によるみどりの連続性の創出など)



- 【連続的につながるみどり】**
- 周辺の既存施設など*との繋がりを意識した道路緑化の強化や新たなみどりの創出
※北海道庁旧本庁舎、北海道大学植物園、大通公園など



※北海道庁旧本庁舎



- 【協働によるまちづくり】**
- 新たなエアリマネジメント団体組成の促進
 - 地域主体のまちづくり活動の促進
(地権者間のまちづくり検討支援、市民・企業と連携した緑化促進など)

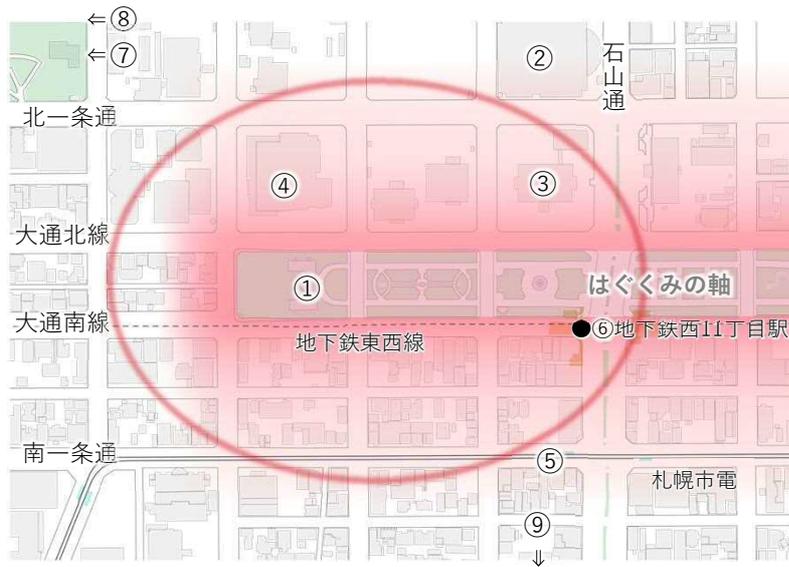


- 【心身の健康増進】**
- 歩行時の障害となる部分の改良
(建物や移動経路のバリアフリー化など)
 - 季節を問わず通れる空間の整備
(屋外のピロティ空間整備、隣接する建物間の接続などの屋内の連続的な歩行空間整備など)

感じられる空間の形成

※上記イラストは想定される取組例を盛り込んだゾーン全体のイメージです

■ ゾーン周辺図
西Cゾーン



①札幌市資料館と前面に広がるサンクガーデン



②周辺に立地するホテル



③札幌高等裁判所



④札幌市教育文化会館



⑤路面電車 中央区役所前停留場



⑥地下鉄出入口 (西11丁目駅)



⑦北海道立近代美術館



⑧北海道知事公館



⑨中央区複合庁舎 (予定)

上記写真全て <資料>札幌市

■ ゾーン特性 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 札幌市資料館、大通公園のサンクガーデンなど歴史的資源、景観資源がある。●象徴性の継承●資源を活かした景観
- 敷地規模が大小様々で、かつ多様な用途の建物が集積しており、今後も多様な都市機能が集積していく素地がある。●創造と交流の好循環
- 大通公園の北側は比較的大きな敷地規模の行政施設が集積している一方、南側は比較的小規模な敷地の多様な用途の建物が集積しており、南北で違う特性をもつ都市機能が集積している。●創造と交流の好循環
- 中央区役所などの公共施設や文化芸術施設のほか、集客交流施設が複数立地している。●創造と交流の好循環
- 北海道知事公館や北海道立近代美術館などの緑のかたまりに近接している。●象徴性の継承●連続的につながるみどり
- 地下鉄駅、路面電車・バスの停留所が近接しており、交通利便性が高い。●円滑な移動環境
- 大通公園が一時避難場所として指定されている。●防災機能の強化
- 札幌市教育文化会館が指定避難所として指定されている。●防災機能の強化

■ 第2次都心まちづくり計画上の位置づけ

- 「大通公園西周辺エリア」に位置づけられ、集客交流機能の強化や、文化芸術・歴史的資源の都市観光などへの活用を目指している。

■ 主な課題 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 大規模な公有地が大通公園に面しているが、駐車場利用などにより公園とまちの一体感が薄い。●創造と交流の好循環
- 大通公園と沿道の空間的な一体感に欠け、利活用及びにぎわいの連続性が不足している。●象徴性の継承●魅力あるライフスタイル●居心地がよく歩きたくなるまち
- まちづくりの勉強会など、地域主体の具体的な動きが無い。●協働によるまちづくり
- 大通公園を中心とした区域は、景観計画重点区域、風致地区及び都市公園区域として、沿道建物の位置、規模及び外壁の色彩、屋外広告物並びに敷地内の緑化などの基準があるが、より良好な景観形成に向けた検討の余地がある。●資源を活かした景観
- 屋外広告物の掲出にあたっては、大通地区の特性を踏まえ、先行整備地区（札幌駅周辺地区など）との比較において、より抑制的な掲出とすることが望ましい。●資源を活かした景観
- 北海道、札幌の重要な公共施設が立地しており高い防災性が求められるが、エリアとしてのBCP³⁴対策はない。●防災機能の強化

強化の考え方

都心西側の回遊拠点を形成し
美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ

³⁴ 【BCP】 Business Continuity Planningの略。事業継続計画。災害などの緊急事態が発生したときに、企業や行政などが損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画。

■強化の考え方

都心西側の回遊拠点を形成し
美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ

■想定される主な取組例 ※ゾーン毎に想定される主な取組例の一覧は60ページ以降を参照



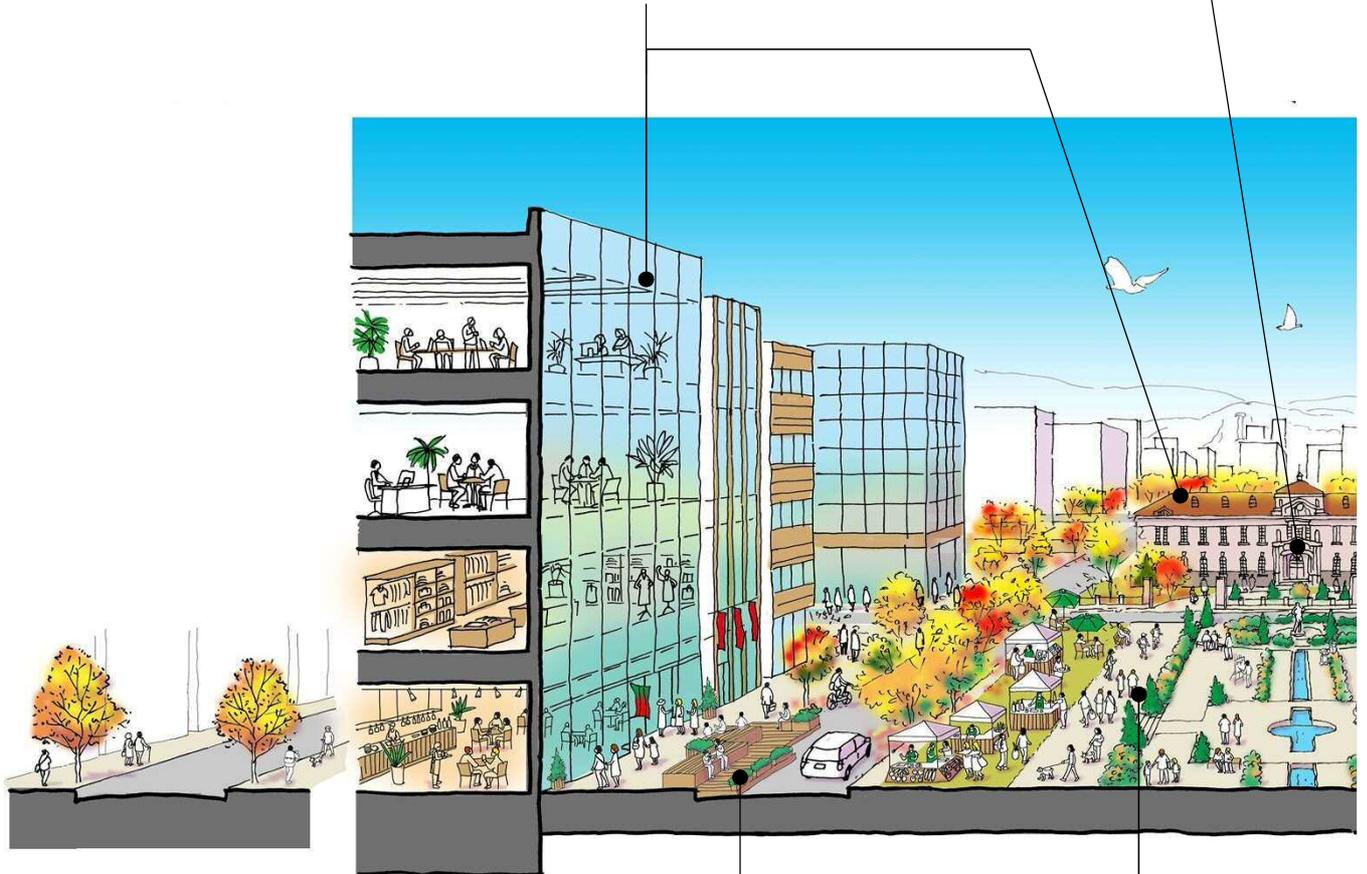
【資源を活かした景観】

- 街並みや歴史的資源※などと調和した建物外観デザインの工夫
※札幌市資料館、大通公園のサンクガーデンなど



【象徴性の継承】

- 歴史的資源※の保存と活用
※札幌市資料館



【居心地がよく歩きたくなるまち】

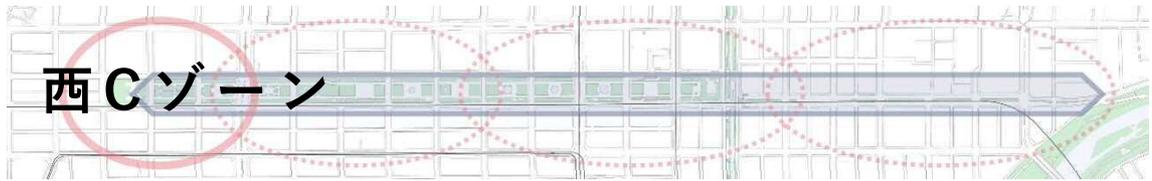
- 道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施



【心身の健康増進】

- いつでも座って休むことができる場所の創出
(一定間隔でのベンチの設置など)

街区・道路・公園の一体感を



西Cゾーン



【連続的につながるみどり】

- みどりととの繋がりを創出するための中低層部の設えの工夫
- 一体感のあるみどりを創出する民間開発や公園などとの連携
- 大通と沿道との繋がりを強化する街路樹などのみどりの強化
- 民間開発における質の高いみどりの創出



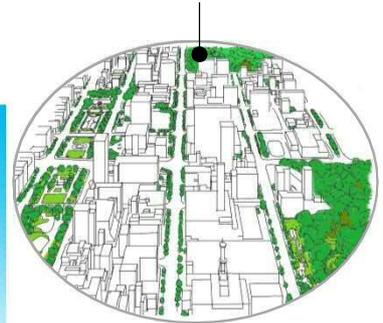
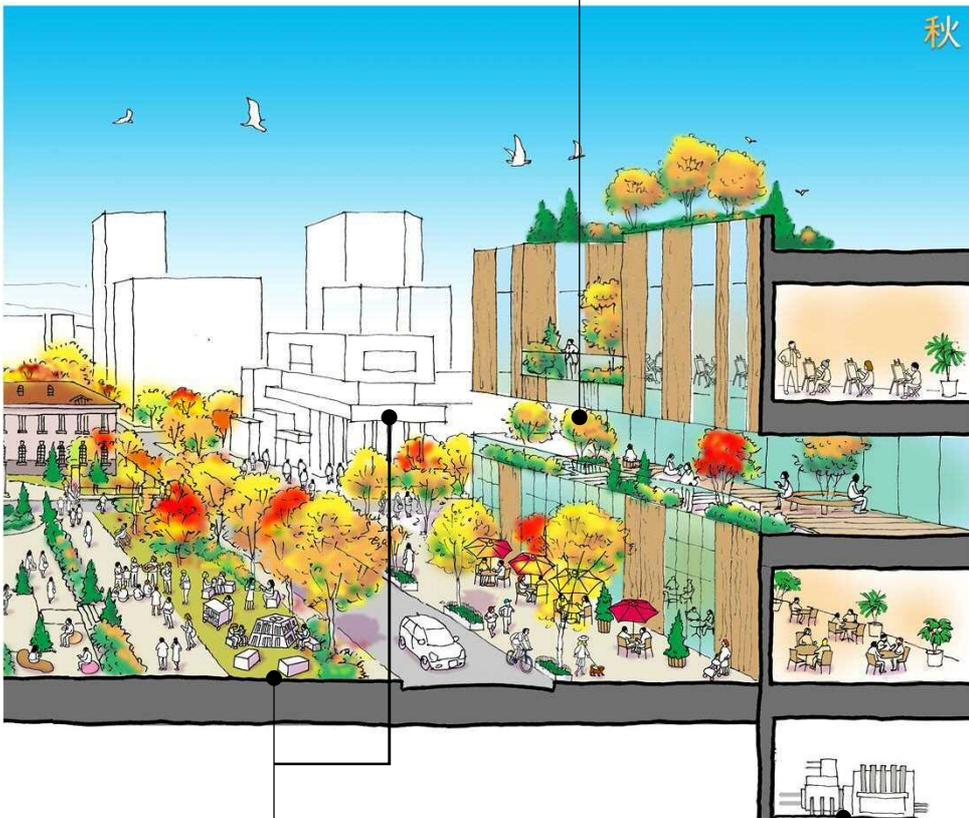
【連続的につながるみどり】

- 周辺の既存施設など*との繋がりを意識した道路緑化の強化や新たなみどりの創出
※北海道知事公館や北海道立近代美術館など

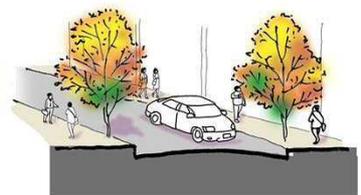


【創造と交流の好循環】

- 周辺の集客交流施設同士の機能的な連携
- 市有地の利活用



※北海道大学植物園などの大通公園周辺のみどり



※コージェネレーション³⁵システム



【創造と交流の好循環】

- 既存施設*を活かした文化芸術活動の促進
※札幌市教育文化会館など
- 周辺の集客交流施設同士の機能的な連携



【脱炭素化の推進】

- 再生可能エネルギー³⁶や未利用エネルギーの積極的な活用
(再エネ発電設備の設置やCGS排熱利用など)
- 地域材を積極的に取り入れた建物内外装の木質化

感じられる空間の形成

※上記イラストは想定される取組例を盛り込んだゾーン全体のイメージです

³⁵ 【コージェネレーション】発電と同時にその際生じる排熱も同時に利用する熱電併給システム。

³⁶ 【再生可能エネルギー】太陽光、地熱、風力、水力、雪冷熱など、エネルギー源として永続的に利用することができるものの総称。

■ ゾーン周辺図

東ゾーン



①青空駐車場



②中小規模の住宅・事務所ビル



③あそぶ公園



④旧永山武四郎邸



⑤旧三菱鉱業寮



⑥歴史的建造物を活かした商業施設

上記写真全て <資料>札幌市

■ ゾーン特性 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 地下鉄コンコースが大通東5丁目まで伸びている。●ユニバーサルなまち
- 東4丁目通の整備により、地域内の南北の歩行環境の向上が図られる予定である。●象徴性の継承
- 歴史的建造物を活かした商業施設や旧永山武四郎邸などの地域資源がある。●象徴性の継承
- 低未利用地が多く今後の土地利用転換が期待される。●創造と交流の好循環
- 創成川より西側と比較して地価水準が低く、賃料負担力にとられない機能導入が可能である。●創造と交流の好循環
- 共同住宅の建設や保育施設の整備が進み、都心居住の受け皿となっている。●創造と交流の好循環
- 民間団体や行政により、イベント開催や実証実験など、公共的空間を活用し、まちの魅力・活力を高めていく試みがなされている。●協働によるまちづくり
- 豊平川において、河川区域の利活用を目指した市民による取組が進められている。●協働によるまちづくり
- 北海道新幹線の札幌駅までの延伸・開業が予定されている。●円滑な移動環境
- 都心エネルギープランで、小規模な建物を含めて都心にふさわしい先進的な取組により低炭素化を推進するエリアとして位置づけられている。●脱炭素化の推進
- 都心エネルギープランで、熱供給ネットワーク促進エリアとして、将来的に面的なエネルギーネットワークを構築するエリアとして位置づけられている。●脱炭素化の推進
- 中央小学校が基幹指定避難場所となっている。●防災機能の強化

■ 第2次都心まちづくり計画上の位置づけ

- 「創成東地区」に位置付けられ、都心の利便性を享受できるような職・住・遊近接の暮らしの場と、起業などにより地区の新たな活力を創造する取組の推進を目指している。

■ 主な課題 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 周辺の世帯数増加に伴い子供の人口も増加傾向にあるが、遊びに利用できるスペースが十分ではない。●創造と交流の好循環
- 駐車場の出入口が沿道に多数存在している。●居心地がよく歩きたくなるまち
- 近接する歴史的資源を活かすなど、景観的な視点からも方向性を位置づけることが望まれる。●資源を活かした景観
- 安全確保計画に定められている一時滞在施設などがバスセンター駅前の地下鉄コンコースのみである。●防災機能の強化

強化の考え方

創成川より西側の活力を引き込み創成東地区の資源を活かした
創造性豊かな職・住・遊環境と
人にやさしく歩きたくなるまちなかをはぐくむ

■強化の考え方

創成川より西側の活力を引き込み創成東地区の資源を活かした
創造性豊かな職・住・遊環境と
人にやさしく歩きたくなるまちなかをはぐくむ

■想定される主な取組例

※ゾーン毎に想定される主な取組例の一覧は60ページ以降を参照



- 【協働によるまちづくり】**
 ●既存のエリアマネジメント団体の活動の促進



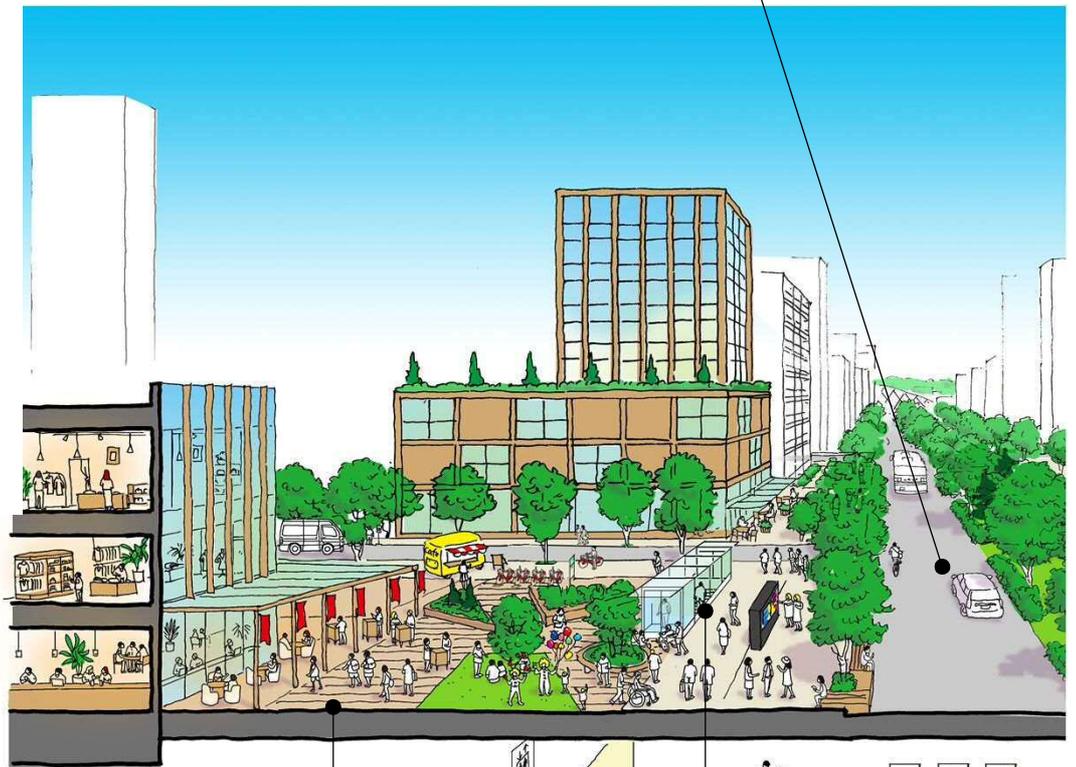
- 【円滑な移動環境】**
 ●北海道新幹線の札幌駅までの延伸・開業を見据えた創成川より東側地域の回遊性向上を目的とした公共交通システムの検討



- 【居心地がよく歩きたくなるまち】**
 ●道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施



※旧永山武四郎邸



- 【象徴性の継承】**
 ●歴史的資源*の保存と活用
 ※旧永山武四郎邸
 及び旧三菱鉱業寮など



- 【象徴性の継承】**
 ●創成川より西側のにぎわいを東側まで波及させる連続性のある空間の形成



- 【創造と交流の好循環】**
 ●低未利用地の利活用
 (実証実験の場や公共的空間など)
 ●大通公園東側の新たな公共的空間の創出
 (魅力的な働く環境としての屋外空間など)

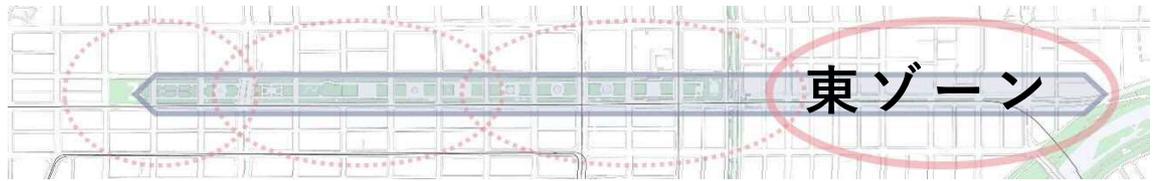


- 【魅力あるライフスタイル】**
 ●滞留や憩いのための空間としての公共的空間の創出



- 【ユニバーサルなまち】**
 ●建替などに合わせた地上と地下の往来時の利便性の向上
 (地下の歩行者空間への接続箇所の新設、地上・地下出入口の建物への取込み など)
 ●案内サインなどによる利便性の向上

街区・道路・公園の一体感を



【象徴性の継承】

- 沿道建物低層部を活用したにぎわい創出
(オープンカフェや屋外テラスの配置など)
- 沿道建物から大通/大通公園までの空間を繋ぐ公共的空間の創出や活用
(民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など)



【連続的につながるみどり】

- 大通公園、創成川公園の連続したみどりを創成川より東側まで波及させる連続性のある空間の創出



【心身の健康増進】

- 身体活動・運動の促進

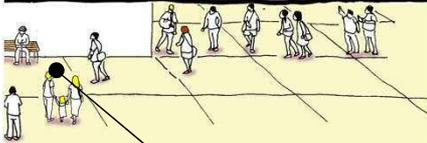


※豊平川河川敷



【防災機能の強化】

- 建物の耐震化の推進
- 地域主体の防災に関する取組の強化



【居心地がよく歩きたくなるまち】

- 立ち止まって休憩ができる場所の創出
(座って憩える快適な公共的空間の創出など)



※熱供給パイプライン



※エネルギーセンター



【脱炭素化の推進】

- 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充
(低炭素な熱利用の促進など)
- エネルギーセンターを核としたAEMSの導入の促進
(ICTを活用した効率的な電力利用の促進など)

感じられる空間の形成

※上記イラストは想定される取組例を盛り込んだゾーン全体のイメージです

4-3. 将来像と取組の方向

ここでは、「ゾーン別の現状と課題、強化の考え方」を踏まえ、ゾーン毎に想定される主な取組例をまとめました。



1. 市民の愛着の醸成と魅力の発信



将来像① 【象徴性の継承】
はぐくみの軸がもつ札幌都心の象徴性が継承されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的資源※の保存と活用 ※札幌市資料館 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大通公園の在り方検討 (大通公園の再整備の検討など) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的資源※の保存と活用 ※札幌市時計台 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的資源※の保存と活用 ※旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮など
	b	<ul style="list-style-type: none"> ● 沿道建物低層部の南北の通に面する部分へのにぎわい機能の導入 ● 周辺の資源※を活かした都市空間の形成 ※北海道知事公館や北海道立近代美術館などの周辺のまとまったみどり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 沿道建物低層部の南北の通に面する部分へのにぎわい機能の導入 ※北海道庁日本庁舎 	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺の資源※を活かした象徴的な都市空間の創出 ● 創成川より西側のにぎわいを東側まで波及させる連続性のある象徴的な空間の形成 ※札幌市時計台、創成川公園、さっぽろテレビ塔 	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺の資源※を活かした象徴的な都市空間の創出 ● 東4丁目通の整備
	c	<ul style="list-style-type: none"> ● 沿道建物低層部を活用したにぎわい創出 (オープンカフェや屋外テラスの配置など) ● 沿道建物から大通/大通公園までの空間を繋ぐ公共空間の創出や利活用 (民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 沿道建物低層部を活用したにぎわい創出 (オープンカフェや屋外テラスの配置など) ● 沿道建物から大通/大通公園までの空間を繋ぐ公共空間の創出や利活用 (民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 沿道建物低層部を活用したにぎわい創出 (オープンカフェや屋外テラスの配置など) ● 沿道建物から大通/大通公園までの空間を繋ぐ公共空間の創出や利活用 (民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 沿道建物低層部を活用したにぎわい創出 (オープンカフェや屋外テラスの配置など) ● 沿道建物から大通/大通公園までの空間を繋ぐ公共空間の創出や利活用 (民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など)



将来像② 【創造と交流の好循環】

はぐくみの軸ならではの文化・魅力・活力を創造することで
世界から投資や人材などを呼び込む好循環が形成されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<p>●低未利用地の利活用（実証実験の場や公共的空間など）</p> <p>●既存の都市基盤施設の利活用（地下鉄コンコースでの展示活動など）</p> <p>●市有地※の利活用 ※芸文館跡地など</p> <p>●市有地※の利活用 ※中央体育館跡地など</p> <p>●市有地の利活用による複数街区での連鎖開発と相互連携を通じた新たな象徴空間の創出</p> <p>●札幌市時計台、大通公園、創成川公園、さっぽろテレビ塔などの地域資源との連携を考慮した民間開発による文化・業務・商業などの多様な機能集積の促進</p> <p>●大通公園東側の新たな公共的空間の創出（魅力的な働く環境としての屋外空間など）</p> <p>●大通公園と札幌市時計台をつなぐ公共的空間の創出</p>			
	b	<p>●建物の更新に合わせた用途の複合化やまちの魅力を高める機能の集積</p> <p>●多様な人材の集積・交流を促すための都心居住への対応</p> <p>●既存施設※を活かした文化芸術活動の促進 ※札幌市教育文化会館など</p> <p>●大通公園に面した街区らしい働き方ができ、多様な人材を引き寄せる創造的なオフィス環境の整備</p> <p>●周辺の集客交流施設 ※札幌市民交流プラザ、札幌大通地下ギャラリー500m美術館など</p> <p>●地下鉄コンコースなど</p>			
	c	<p>●大通公園の在り方検討 （大通公園の回遊性の向上に向けた議論と検討、民間事業者と連携した公園整備手法の検討など）</p> <p>●大通公園、創成川公園が持つ魅力を創成川より東側まで波及させる連続性のある空間の形成 （西Aゾーンからの人の流れを引き込む連続的な公共的空間の創出など）</p>			



将来像③ 【魅力あるライフスタイル】

はぐくみの軸らしい魅力あるライフスタイルが国内外に認識されている

			ゾーン毎に想定される主な取組例			
			西C	西B	西A	東
取組の方向	a	四季を通じてだれもが利用でき大通公園との一体的な利用を意識した公共空間を屋内外で創出し、日常利用の促進を図る。	●大通公園との一体的利用を意識した公共空間の創出や利活用		●複数街区間での連携を考慮した連鎖開発による屋内外での公共空間の創出 ●滞留や憩いのための空間としての公共空間の創出 ●市有地等を活用した公共空間の創出（大通西1丁目、大通西2丁目街区など） ●集積する資源同士のつながりを意識した公共空間の創出（札幌時計台、大通公園、創成川公園など）	
	b	建物用途や設えの工夫により、大通公園やまちに開かれた空間を創出する。	●沿道建物低層部へのにぎわい機能の導入（飲食店や物販店の配置など） ●沿道建物の内部の活動が見える設えの整備と使い方の工夫（ガラスを使用した壁面の透明化による開放感創出など）			
	c	大通公園がもたらす日常の憩いとイベント開催などによるにぎわいの両立を図る。	●大通公園の在り方検討 (日常利用とイベント利用の使い分け、公園の憩い機能を発揮する、公園敷地内外の空間形成など)		●イベント開催時の大通公園と周辺の公共空間との一体的な活用 ●道路空間などを活用した実証実験 (イベント時の公園と道路の一体的な活用のための実証実験など)	●大通公園、創成川公園が持つ魅力を創成川より東側まで波及させる連続性のある空間の形成 (大通公園でのイベント時のにぎわいを引き込む公共空間の創出など)



将来像④ 【協働によるまちづくり】

時代の流れに柔軟に対応した市民・企業・行政などの協働によるまちづくりが進められている

			ゾーン毎に想定される主な取組例			
			西C	西B	西A	東
取組の方向	a	市民・企業・行政などの協働による実証実験を展開しながら、施策の検討を進める。	●実現させたい施策を想定した、多様な関係者が参加した実証実験の実施			
	b	市民・企業・行政などの協働による活発なまちづくり活動を促進する。	●新たなエリアマネジメント団体組成の促進 ●地域主体のまちづくり活動の促進 (地権者間のまちづくり検討支援、市民・企業と連携した緑化促進など)		●既存のエリアマネジメント団体の活動の促進	

II. より快適で豊かな暮らし



将来像⑤ 【ユニバーサルなまち】
 大通公園や大通沿道の公共的空間などが
 誰もが安心して利用できるユニバーサルな空間となっている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> ● 建替などに合わせた、建物や移動経路のバリアフリー化 ● 利用しやすい休憩場所の創出（屋内外の公共的空間へのベンチの設置など） 			
		<ul style="list-style-type: none"> ● 建替などに合わせた地上と地下の往来時の利便性の向上（地下の歩行空間への接続箇所の新設、地上・地下出入口の建物への取込み など） ● 案内サインなどによる利便性の向上（地下の歩行空間など） 			



将来像⑥ 【心身の健康増進】
 訪れる人の心身の健康を増進させる環境が整っている

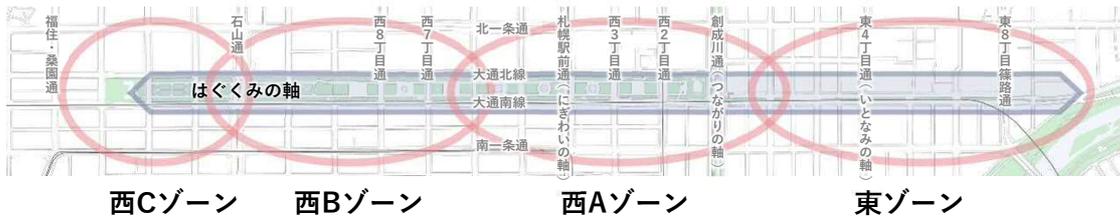
		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行時の障害となる部分の改良（建物や移動経路のバリアフリー化など） ● 季節を問わず通れる空間の整備（屋外のピロティ空間整備、隣接する建物間の接続などの屋内の連続的な歩行空間整備など） ● いつでも座って休むことができる場所の創出（一定間隔でのベンチの設置など） ● 身体活動³⁷・運動の促進（大通公園の四季を通じた身体活動の場としての利活用など） 			
	b	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康増進に資する機能の導入（ランニングステーションやジムなどの機能の導入） ● 大通公園と一体感を感じられるような設えの工夫（内装の木質化、低層部ににぎわい機能の導入、屋外テラスの設置など） ● 建物の内部の活動が見える設えと使い方の工夫（屋内緑化によるみどりの連続性の創出など） 			



将来像⑦ 【居心地がよく歩きたくなるまち】
 街区・道路・公園の一体感がある居心地がよく歩きたくなるまちが形成されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行者動線と錯綜しない、共同荷さばきのためのスペースや動線の確保 ● 歩行者の多い路線への駐車場出入口設置の抑制 ● 周辺街区と連携した歩行者動線上の放置自転車対策 			
	b	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施 			
	c	<ul style="list-style-type: none"> ● 沿道建物低層部でのにぎわいが連続する空間の創出（飲食店や物販店などの配置など） ● 沿道建物内部の活気を感じられる設えの整備と使い方の工夫（壁面の透明化や通りに面した場所での活動など） ● 立ち止まって休憩ができる場所の創出（座って憩える快適な公共的空間の創出など） ● 大通公園の在り方の検討（公園敷地と隣接した歩道部分の活用の検討など） 			

³⁷【身体活動】安静にしている状態より多くのエネルギーを消費する全ての動作のこと。



将来像⑧ 【円滑な移動環境】

東西に長いはぐくみの軸を円滑に移動することができる

			ゾーン毎に想定される主な取組例			
			西C	西B	西A	東
取組の方向	a	エリア内を円滑に移動できる環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 路上駐車対策などによる自転車が安全に通行できる空間の確保 ● 円滑な移動を阻害しない位置への駐車場出入口の設置 ● 周辺街区と連携した放置自転車対策の推進による歩行環境の確保 			
	b		<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道新幹線の札幌駅までの延伸・開業を見据えた創成川より東側地域の回遊性向上を目的とした公共交通システムの検討 			



将来像⑨ 【資源を活かした景観】

歴史的資源などを活かしたはぐくみの軸ならではの景観が形成されている

			ゾーン毎に想定される主な取組例			
			西C	西B	西A	東
取組の方向	a	大通公園や周辺の歴史的資源、大通沿道の街並みとの調和を考慮した、一体感のある景観形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 新築建物における大通公園や大通沿道の環境、そこでの活動に配慮した配棟の計画 (壁面セットバックを用いた大通公園や歴史的資源への配慮など) ● 新築建物における街並みと調和した建物の表情線の創出 (隣接建物と調和した低層部の軒高やオープンスペースの創出など) 			
	b	屋外広告物の掲出にあたって大通沿道の景観に配慮する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 大通公園にふさわしい屋外広告物の規制、誘導 (先行整備地区との比較でより強い規制の策定など) 			



将来像⑩ 【連続的につながるみどり】
大通公園を中心に連続的にみどりの空間が形成されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<p>● 大通公園、創成川公園の連続したみどりを創成川より東側まで波及させる連続性のある空間の創出</p> <p>● 周辺の既存施設など※との繋がりを意識した道路緑化の強化や新たなみどりの創出</p> <p>※北海道知事公館や北海道立近代美術館など ※北海道庁旧本庁舎、北海道大学植物園、大通公園など ※札幌市時計台や大通公園など ※大通や豊平川など公園など</p> <p>● 民間開発における質の高いみどりの創出（（仮称）緑化ガイドラインの検討など）</p>			
	b	<p>● みどりととの繋がりを創出するための中低層部の設えの工夫</p> <p>● 一体感のあるみどりを創出する民間開発や公園などとの連携</p> <p>● 大通と沿道との繋がりを強化する街路樹などのみどりの強化</p> <p>● 道路空間などを活用した実証実験（憩いの空間創出のための実証実験など）</p> <p>● 大通公園の在り方検討</p> <p>（回遊性を高める歩行者ネットワークとの連携、公園・道路・民間敷地が一体となったみどりの創出など）</p> <p>● 民間開発における質の高いみどりの創出（（仮称）緑化ガイドラインの検討など）</p>			



Ⅲ. 持続可能なまちづくり



将来像⑪ 【脱炭素化の推進】

2050年のゼロカーボン都市の実現に向けた先進的な取組が進められている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> ● 建替え機会を捉えた、建物の省エネルギー化の推進 ● 既存建物における省エネルギー機器への転換 ● 各建物へのBEMS³⁸等の導入による、エネルギーの最適利用の促進 ● 再生可能エネルギーや未利用エネルギーの積極的な活用 (再エネ発電設備の設置やCGS排熱利用など) ● 地域材を積極的に取り入れた建物内外装の木質化 		<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充 (低炭素な熱利用の促進など) ● エネルギーセンターを核としたAEMSの導入の促進 (ICTを活用した効率的な電力利用の促進など) 	
	b			<ul style="list-style-type: none"> ● 災害に強く環境にやさしいモデル街区の整備 (水素ステーションの整備など) 	



将来像⑫ 【防災機能の強化】

はぐくみの軸の防災機能が強化されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> ● CGSや非常用発電機などの分散電源の整備促進 ● 災害時に活用できる公共的空間の創出 ● 建物の耐震化の推進 		<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充 (強靭な熱利用の促進など) ● 各建物へのBEMS、エネルギーセンターを核としたAEMSの導入促進 (強靭な電力利用の促進など) 	
	b	<ul style="list-style-type: none"> ● 大通公園の防災機能の強化 (雨水浸透緑化の推進など) 		<ul style="list-style-type: none"> ● 地下街の防災性向上 (浸水対策の検討など) 	
	a	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の防災性向上を図る 			
	b	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域主体の防災に関する取組の強化 (防災計画の策定など) 		<ul style="list-style-type: none"> ● エリアマネジメント団体による防災訓練の実施 	

³⁸ 【BEMS】 Building and Energy Management System の略。ICT 技術を利用して業務用ビルの照明や空調等を制御するなど、室内環境とエネルギー性能の最適化を図るためのビル管理システム